

第3種郵便物認可



関口 実氏 (67)

川崎駿周辺などでマイクを握り、「腐った世の中を掃除しよう」と拳を握り、繰り返し声を上げた。腰や首に痛みを抱え、薬を服用し、時に疲労で立ちくらみながらも電車を乗り継ぎ街頭に立ち続けた。自らの声をかけられる機会は主サイトの更新や演説準備を夜通し行い、「机に伏して寝る毎日。よく眠れていらない」と打ち明ける。自閉スペクトラム症（A.S.D.）を公表し、「障害がある人を勇気づけられたら」と語っていたが、街頭で応援の声をかけられる機会は

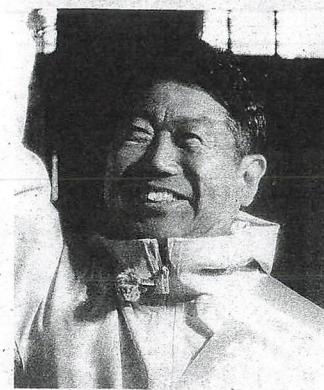
排外主義にあらがう

.....



山田 瑛理氏 (42)

まちのために尽くす



福田 紀彦氏 (53)

1期目でも、2期目でもすた。イメージカラーの茶色

公約訴え盤石を證明

「市民生活最優先。市民の声を聞き、市民生活に寄り添う川崎を市民の方々と共につくりたい」。政黨役員の野末明美氏・共産党推薦はJR川崎駅周辺でマイクを握り、「市民」と繰り返した。

中学校までの学校給食費の声を聞き、市民生活に寄り添う川崎を市民の方々と共につくりたい」。政黨役員の野末明美氏・共産党推薦はJR川崎駅周辺でマイクを握り、「市民」と繰り返した。

ゼロや市営住宅の増設、多摩川の水害危険箇所の安全対策推進。市民の声に耳を傾けて練り上げた38の政策を打ち出してきた。告示日以降は寒暖差の影響で風邪をひき、声がかれることもあったが、「川崎の未来を切り開き、希望あ



野末 明美氏 (60)

「ふるいはたがいのまへと春日
　最年少候補の会社員、國
　谷涼太氏は最終日の演説場
　所のスタート地点に川崎市
　役所を選ばゞ。JR南武線
　や小田急線など市内の主要
　駅や各区役所など「25拠
　これまで駅頭を中心に選
　を持て、いつまでも川崎で暮
　せりやねゆるよつに。誰も川崎
　責任ある世代として、皆さ
　んと一緒に川崎をさらに前に
　に進めてまいります」



國谷 涼太氏 (25)

若て全面駆け抜ける
「最後に何をしたいか。 指を自らの足で駆け巡る

川崎市長選の選舉戦は最終日となつた25日、各候補は人の往来が多いターミナル駅などに繰り出し、有権者に最後の訴えを届けた。雨がそぼ降る肌寒い悪天候の中、それぞれが市政への熱い思いを言葉に込め、14時間にわたる論戰を締めくづいた。

周易口技

（三崎市長選取材班）＝古川の脚力出頭、斧記2面

雨がそよぐ肌寒い悪天候の中、それぞれが市政への意見を言葉二入め、4日間一つの論戦を繰り広げた。

ターミナル駅などに繰り出し、有権者に最後の訴えを

市長選の選挙戦最終日となつた25日、各候補は人の往来